

市民協働、民間活力の導入による公園の管理運営と魅力ある公園づくりを推進（第7次総合計画）

(1) 水前寺江津湖公園におけるPark-PFI導入の検討

＜概要＞

- 公園の魅力向上のため、Park-PFI（次頁※1）を活用し、民間によるカフェ等の設置について検討。
- 事業化の方向性や導入の可能性を調査し、公募の検討を進めている。

＜これまでの取組＞

- 令和3年1月～ サウンディング調査（次頁※2）・事業者ヒアリングを受け、導入可能性の検討。
- 令和4年4月 公園利用者アンケートの実施。

＜今後の取組予定＞

- 具体的な公募条件等の検討に着手。
- 市民意見等も聴取しながら検討を進め、準備が整い次第、公募開始。

(2) 坪井川緑地における民間活力導入の検討

＜概要＞

- 供用開始後約30年が経過し、施設の老朽化や駐車場の不足といった課題を抱えている。
- 現在、国の補助金（※3）を活用し、基礎検討調査を実施している。

＜これまでの取組＞

- 令和4年4月～ 基礎検討調査受託者の選定手続き。（8月に受託者決定）

＜今後の取組予定＞

- 令和4年度は、基礎検討調査により、民間活力導入の可能性を検討。
- 市民意見等も聴取しながら検討を進める。

※3：官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援調査費補助金

(3) 寄附を活用した公園施設整備

＜概要＞

- 各区土木センター管理の都市公園数は既に1,000箇所を超えており、施設の更新や修繕は課題。
- 市長マニフェストでも掲げている、ふるさと納税制度を活用した寄附事業の試行として「クラウドファンディング」により、水前寺江津湖公園と坪井川緑地においてベンチの設置を実施。

＜これまでの取組＞

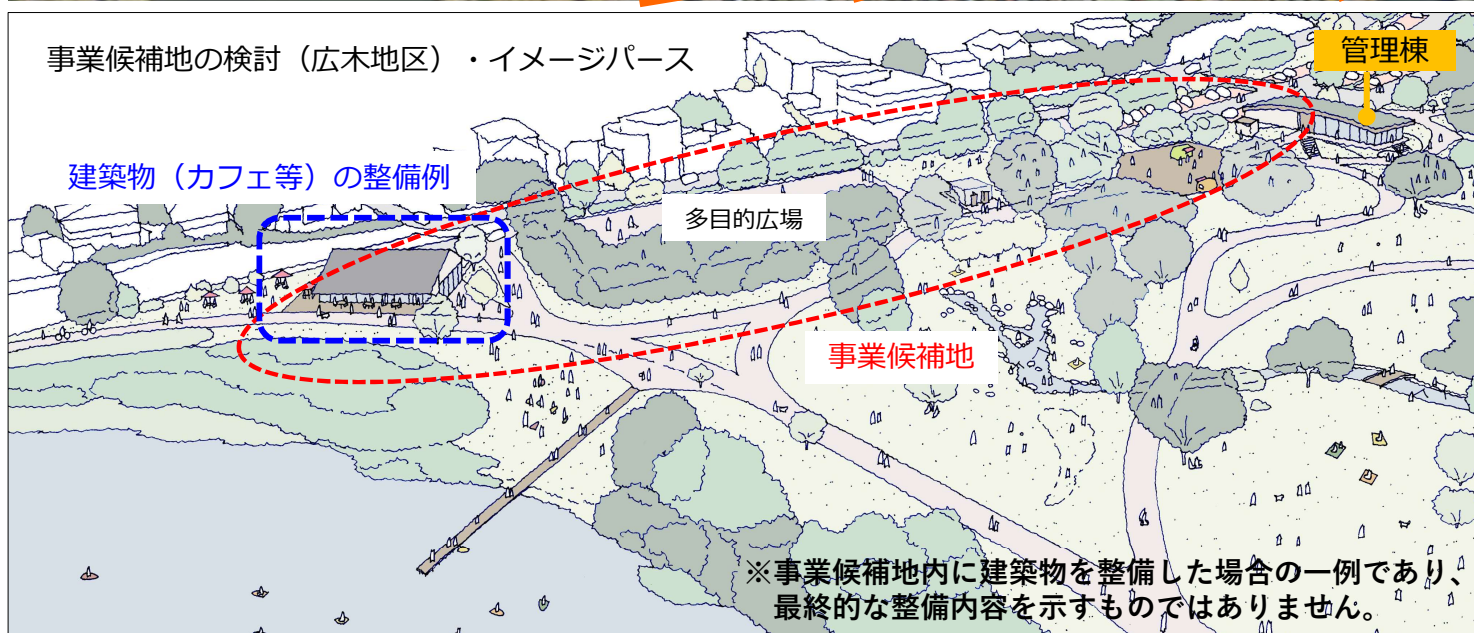
- 平成30年～ 他都市の事例調査を実施。
- 令和1年～ 事業方針の検討実施。 ⇒ 新型コロナウイルスの影響を鑑み、事業着手時期を検討。
- 令和4年4月 ベンチに関するアンケートの実施。

＜今後の取組予定＞

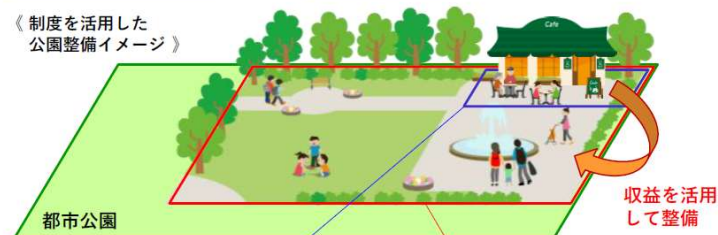
- 「クラウドファンディング」の結果を踏まえ、事業スキームの整理や他の公園施設への充当を検討する。

	R4（2022年度）				R5（2023年度）			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
Park-PFI	アンケート	導入検討 再ヒアリング	公募検討 意見聴取 ヒアリング	指針の公表	募集期間 4 - 5ヵ月間を想定	事業者選定手続き		事業開始
坪井川緑地			検討調査業務 庁内検討委員会		実施方針等の作成 (R6：事業者公募／R7：事業開始予定)			
寄附ベンチ	アンケート	公園ベンチ現状整理	試行 クラウド ファンディング	試行結果を 踏まえ スキーム検証	新たな事業スキームへの展開			

(1) 水前寺江津湖公園におけるPark-PFI導入の検討



特例 1 設置管理許可期間の特例 (10年→20年)	特例 2 建ぺい率の特例 (2%→12%)	特例 3 占用物件の特例
---	------------------------------------	------------------------



民間事業者が収益施設と公共部分を一体的に整備

	カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)	広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)
従 前	民間資金	公的資金
新制度	民間資金	収益を充当 公的資金

公募設置管理制度（Park-PFI）のイメージ

※1：Park-PFI（公募設置管理制度）

- カフェや売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。
- 公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る新たな整備・管理手法。

※2：サウンディング調査

- 行政が実施する公共施設の整備や運営等において、民間事業者の意見や新たな提案を把握し、新たな事業の進展を図ることを目的として実施する市場調査・情報収集のこと。